



イケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 645 回 IT 進化で、20 年後は無くなる職業

2015.9.6

先般、ホームページ(以下 HP)活用のためのセミナーに参加した。

我国事業所の HP 開設率は、大手企業が 95.6%、中規模企業が 80.4%、小規模企業が 46.3%(中小企業白書)だそうだ。上場企業は 100%、自社 HP を持っている。業種別に開設率をみると、高いのは「金融・保険業」で 94.1%、低かったのは運輸業で 73.6%である(総務省「通信利用動向調査」H25 年)。

平成 25 年末のインターネット利用者数は、スマートフォンを含め 1 億人以上(10,044 万人)、人口普及率は 82.8%というのが、我国の IT 市場の実態である。

HP が普及しはじめたのは、1994 年前後だといわれている。

ということは、今からわずか 21 年前のことである。

ちなみに、1994 年、この年同時に Amazon.com, Inc.(アマゾン・ドット・コム)が設立された。Yahoo!の創業が 1995 年、Google は 1998 年。また、インターネット上の百科事典 Wikipedia が登場したのが 2001 年のこと。あまりの便利さに百科事典が売れなくなったと言われている。

クラウドコンピューティング・スマートフォンが登場するのは 2006 年以降で、仮想空間という概念が段々と一般にも定着し始め、2012 年にはクラウドサービスに 620 億ドル(約 6 兆 1500 億円)がつぎこまれ、大きな事業へと変貌を遂げている。

興味深いデータとして、2012 年には毎分、72 時間のムービーが YouTube にアップロード、68 万 4,478 個/1 分のコンテンツが、1 日 10 億人が利用する Facebook で共有、17 万 5,000 件/1 分のツイートが Twitter に投稿されたそうだ。

また、Skype はユーザーの毎日の総通話時間が 20 億分に達したと発表した。

2011 年から 15 年にかけて、IT 関連の雇用率は 4.3%上昇し、クラウドサービス関連の雇用率は 26%も上昇するとのこと。

2015 年以降の IT 業界の雇用率は、ネットワークシステムおよびデータコミュニケーションアナリシスが 53.4%、アプリケーションソフトウェアエンジニアに関しては 44.6%、システムアナリシスは 29%上昇すると予想されており、まだまだ、IT 市場は、想像もつかないスピードで進化していくようである。

「子供たちが大人になる頃、その 65%はまだ存在していない職業に就く」とは米国のデューク大学研究者であるキャシー・デビッドソンの言葉であるが、IT 化の進展によって、新しく創出される仕事もあれば、逆に消えてしまう仕事もある。

英国オックスフォード大学では「雇用の将来」という非常に興味深い調査レポートを発表している。

このレポートは、今後 20 年の IT 化の影響で、米国における 702 ある職業のうち、米国の総雇用の 47%が失われるとのこと。

そのワースト 10 は…①新規顧客アカウント作成スタッフ、②写真処理労働者及び加工機オペレーター、③税務申告者、④貨物の荷積みスタッフ及び代理店、⑤時計の修理工、⑥保険引受け業務、⑦数理技術者、⑧裁縫師、⑨タイトル審査・調査、⑩電話営業となっている。

これらの作業は、数値やデータを取り扱い、規則性が強く、定例・定型的で比較的内容が単純、故に IT 化し易いという面を持ち合わせている。

何と当社のメイン事業、**税務業務と保険代理業務**がしっかりベスト 10 入り、オックスフォード、ふざけるなあ…そうはさせまい！とガッツを入れ直し 9 月のスタートを切ったところである。